

## 甲武信ヶ山行報告

【山行日】2022年 11月 19日(土)～20日(日)

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 20,600円

【メンバー】CL:鈴木、SL:廣瀬

石澤、小林、福島、吉田

11月19日(土) 晴れ 道の駅「みとみ」から徳ちゃん新道を登り、甲武信小屋から甲武信ヶ岳に登ってそのまま往路を下山し、石和温泉「喜仙」に宿泊する。



岩舟支所P4:00＝道の駅「みとみ」6:35/6:55～徳ちゃん新道入口 7:30～2111mP10:15～木賊山 11:30～甲武信小屋 11:45/11:55～甲武信ヶ岳 12:15/12:55～木賊山 13:25～2111mP14:10～徳ちゃん新道入口 16:05/16:10～道の駅「みとみ」16:30/16:45＝石和温泉「喜仙」17:20

山行アンケートで甲武信ヶ岳のリクエストがあり、南側の徳ちゃん新道から登る計画を立てた。



岩舟支所を4時に出発し国道50号線から大泉町を抜け、国道407号線から国道140号を走り、雁坂トンネルを抜けて、道の駅「みとみ」に車を止める。出発の準備をしたらトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。

道の駅を出て道路を左に進み、西沢溪谷に向かって舗装道路を歩いて行く。途中、近丸新道登山口を右に見送り、すぐ先の西沢山荘手前にある徳ちゃん新道入口から右に登って行く。最初は緩やかに登って行くが、次第に傾斜がきつくなる。

カラマツ林の中を登って行き、少し平らな場所に出て小休止し衣服調整する。天気は無風快晴の登山日和だが、明日は朝から雨の予報なので一抹の不安を抱きながら登って行く。ソロの登山者は足が速く何人か追い越されるが、焦らず自分たちのペースを守って登る。急な登りに皆さん黙々と登り、グングン高度を稼いで行く。振り返ると富士山が見え、皆さんから「ウワ～富士山だ」と歓声が上がった。やがてヤセ尾根を登るようになり、近丸新道と合流しシャクナゲの間を登るようになる。すぐに広い尾根を登るようになり、登山道が幾筋も付いていて道を選びながら登って行く。2111mの小ピークに着きここで昼食の予定だったが、時間を見ると10時15分である。



時間が早いので甲武信小屋まで行って昼食にし、小休止してそのまま登って行く。針葉樹林のうす暗い道に変わり、木の根が張り出した歩きにくい登山道を登ると傾斜が緩み、展望が良い岩場に出る。



眼下に廣瀬ダムが見え、その奥には雪化粧した富士山が聳えている。誰かが「廣瀬ダムに富士山じゃあ、廣瀬さんの名前の通りじゃん」と言って、皆さんの笑いを誘う。ここからほんの少し登ると、



奥秩父主稜縦走路に出る。稜線を左に進むと木賊山山頂に出るが、樹林の中で展望は得られない。すぐ先から下りになり、先日降った雪が残っていて慎重に下る。ザレ場の急斜面を下ると展望が開け、甲武信ヶ岳の全容が見えてくる。

すぐ先を右に下ると甲武信小屋に出て、小屋の前のベンチで休憩を取る。誰かが「12時前なので、山頂に登ったらそのまま下山できませんか？」「明日は朝から雨の予報なので、出来れば雨の中を下りたくないです」と言う。「全員が今日中に下りたいと言うのならいいですよ」と言うと、皆さんから「今日中に下りたいです」との返事。

甲武信小屋に入ってキャンセルの交渉をすると、「いいですよ、キャンセル料もいりません」とやさしい返事。皆さんがトイレを済ませたら山頂に向かい、山頂で昼食を食べる

ことにする。甲武信ヶ岳山頂からの眺望は素晴らしく、富士山をはじめ南アルプスから中央アルプス、北アルプス等壮観な眺めが広がっている。

南側が見える場所に陣取り、ランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただいた。大パノラマを見ながらのランチは美味しく、皆さん笑顔で食べていた。

ランチが済んだら山頂標識前で記念写真を撮り、下山開始する。下山は往路戻り、真っすぐ尾根通しに進んで木賊山まで登り返す。

すぐ先の分岐を右に下り、往路をそのまま下って行く。途中、スマホの電波が届く場所で、今宵の宿を探して交渉するが、何処も満室ですと断られる。

「やっぱり土曜日で、今から今日の予約は無理か」と諦めると、小林さんが石和温泉の案内所に



TEL した。案内所の方に「今日2部屋で6名宿泊できる宿」をお願いすると、「探して連絡します」との返事。30分程下ると TEL があり、「喜仙」と言う宿が泊れますとの返事がきた。

喜仙に TEL すると、2部屋6名宿泊できますとの事。宿泊料金を聞くと、1泊19500円だが全国旅行支援が使えるとの事で、我輩以外は皆さんワクチン接種証明を持っており、宿泊をお願いした。温泉宿に泊れるとなると皆さん大喜





びで、ここからの下山は勢いが違った。

グングン下って行き、目標時間に道の駅「みとみ」に着くことが出来た。靴を履き替えトイレを済ませたら宿に向かい、17時20分に今宵の宿「喜仙」に着く。

受付と旅行支援の手続きを済ませ、部屋に案内され温泉に入る。早く着けたのでゆっくり温泉に浸かり、反省会も行うことが出来た。廣瀬さんが八海山を持参し、甲武信ヶ岳を往復した貴重なお酒を美味しくいただいた。19時から夕食になり、1階の大広間に移動して夕食をいただく。豪華なお料理で生ビールをいただき、「頑張ったお蔭で良い宿に泊れたね」と話が弾んだ。夕食が済んだら部屋に戻り、荷物の整理をしてから床に就いた。

**11月20日(日) 曇りのち晴れ 武田神社から昇仙峡を観光し、岩舟支所に帰着する。**

喜仙 8:50 = 武田神社 9:20/9:40 ~ 昇仙峡県営  
P10:00 = 影絵の森美術館 P10:10 ~ 仙娥滝 ~ 覚円  
峰石門 ~ 昇仙峡県営 P10:50/11:00 =  
、狭山 PA12:50/13:20 = 岩舟支所 P14:05

朝5時に起きて温泉に行き、露天風呂に入ると雨が落ちてきた。「やっぱり昨日下山して正解だね」と言いながらのんびり温泉に浸かった。美味しい朝食をいただき、荷物を纏めたら宿自慢の庭園を見学する。庭園には遊歩道がつけられ、皆で写真を撮りながら散策した。チェックアウトして車に向かうと雨は上がっており、薄日が差している。「エ〜〜天気予報は嘘ばかりついて」と言いながら



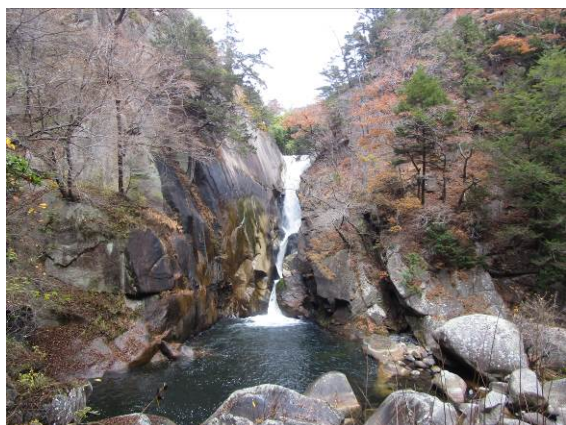
車に乗り、皆さんと相談して武田神社と昇仙峡を観光することにした。宿から石和駅前を通り、甲府市内を抜けて武田神社に着く。武田神社は武田信玄公ゆかりの神社で、武田氏三代の居城「躰躰ヶ崎館」跡に建つ神社である。創建は大正8年と新しいが、甲斐国の総鎮護として広く信仰を集めている。神社に参拝したら境内を散策し、丁度見頃の紅葉を愛でながらゆっくりと見学した。ここから昇仙峡に向かい、和田山モミジラインの紅葉を見な

がらドライブし、グリーンラインを通過して県営無料駐車場に車を止める。待っていたかのようにオジサンが来て、「ここから滝上バス停までワゴンタクシーで行くと便利です」と勧誘に来た。料金を聞くと1人250円なので利用することにした。10分くらいで影絵の森美術館駐車場に着き、ここから昇仙峡を歩くことにした。天気が良いのでロープウェイで弥三郎岳まで登る予定だったが、車を降りると風が強いので弥三郎岳は諦め、渓谷を下ることにする。美術館脇の橋を渡り、お土産店の間から遊歩道に入り仙娥滝に向かって降り





て行く。仙娥滝は昇仙峡最大の滝で、落差30mの豪快な滝は昇仙峡随一のビューポイントである。ここから溪谷に沿ってのんびり歩き、石門や覚円峰等の見どころが次々と現れる。カエデの紅葉が



丁度見頃で、上から日差しを受けて実に見事である。さすが観光地100選溪谷の部第一位を獲得しただけのことはあると思った。30分程で県営駐車場分岐に着き、分岐を左に登ると駐車場に着いた。トイレを済ませたら車に乗って帰路につき、甲府南ICから中央道に乗って岩舟支所に向かった。途中、談合坂SAと相模湖IC間で事故渋滞にあったが、20分程度の渋滞で済み狭山PAで昼食を食べた。

結構混んでいて並んでいたが、列に並んで進むとオーダーしたものが出てくるので、それほど時間が掛からない。安くて美味しくお勧めのレストランである。ここからは渋滞も無く順調に走り、2時過ぎに岩舟支所に帰着した。計画とは違った行程となったが、最高の天気で山頂に登り、温泉と観光まで楽しみ充実した大満足の山行となった。

